

青少年センターから皆さんへ

誰にも相談できずに悩んでいる児童・生徒の皆さんと保護者の皆さん、一人
で抱え込んでしまう前に、まずはご相談ください。
☎安曇野市青少年センター(市役所1階子ども家庭支援課内) Tel.71-2078
子どもと親の相談電話(豊科公民館内) Tel.72-2238

Interview

言葉 自分にしかできないこと



少年の主張長野県大会
優良賞受賞
浅井 源信 さん
(三郷中学校1年)

発表の様子は長野県将来世代応援県民会議YouTubeでご覧いただけます。



9月に開かれた少年の主張長野県大会で、浅井源信さんの「言葉」が応募のあった823作品の中から優良賞を受賞しました。浅井さんは、心掛けていた言葉の使い方や自分にできる行動を発表しました。

温かい言葉の力

人の心を温かくすることも、傷付けてしまうこともできる「言葉」。悪口や暴言を言われた時には心が傷付き、嫌な思い出と共にその言葉が残りに残ってしまいます。しかし、温かい言葉は相手の心にそっと明かりを灯すことができます。

私は周囲から嫌な言葉を言われた時、家族や友達からかけてもらった「大丈夫?」という言葉で心が温かくなったことがあります。この出来事があったからは、普段とは違った様子の友達には同じように「大丈

夫?」と声をかけるようになりました。その言葉で元気を取り戻してくれた友達を見ると、自分も自然と笑顔になって温かい言葉が持つ力を実感することができました。

相手が笑顔になるために

相手の悩みに寄り添ったり感謝を伝えたりするなど、ほんの少しの言葉や行動で相手はもちろん、自分も笑顔になることができます。私は人を傷付けるのではなく、家族や友達を喜ばせて笑顔にできるように言葉を使っていきたいです。一人一人が言葉で周囲を明るく温めることができれば、たくさんの人が笑顔になると思います。

発表は緊張しましたが、自分の思いを伝えることができました。これからも自分の感じていることをさまざまな形で表現していきたいです。

Information

青少年センター運営委員会 運営委員を募集

青少年の健全な育成と非行防止活動の促進のため、啓発活動等を行う運営委員を募集します。
☎次に該当する人を除く18歳以上の市内在住・在勤者で、平日に開催する会議に出席できる人
①国・地方公共団体の議員②常勤の公務員③市の附属機関等の公募による委員④市税の滞納がある人
☎3人 任期 4月1日から2年間
☎3月9日(月)までに申込書と小論文を子ども家庭支援課へ直接または郵送(当日消印有効)
申込書・小論文のテーマは担当課窓口または市HPから入手できます。
提出先 〒399-8281(住所不要)子ども家庭支援課 宛て
☎子ども家庭支援課 Tel.71-2078



開館時間

●中央図書館
平日 9:00~20:00
土日祝 9:00~18:00
●豊科・三郷・堀金・明科図書館
10:00~18:00

安曇野市図書館
キャラクター「ほほん」

3	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31				

文字の読書が困難な方は、図書館へご相談ください

3月の図書館イベント

☎日時 ☎場所 ☎対象 ☎講師 ☎費用 ☎定員 ☎持物 ☎申込

穂高絵本とお話の会・中央図書館共催 おはなしをいっぱい楽しむ会



東京・松本・穂高の語り手が集うスペシャルな素話の会。読み聞かせや朗読とは一味違う、素朴な想像の世界をお楽しみください。

☎3月18日(水) 13:30~16:00予定(開場13:00)
☎「みらい」多目的交流ホール
☎どなたでも 費無料 定100人(当日先着順)
☎中央図書館 Tel.84-0111

Info 5月の休館予定

システム更新のため、5月下旬の約2週間、全館休館します。詳細は広報あづみの4月号に掲載します。

中央図書館 春のこども

映画上映会



DVDを大画面で楽しむ子ども向けの上映会。大人も大歓迎。
☎「みらい」多目的交流ホール 費無料 定100人(当日先着順)
☎第2金曜日の映画上映会はありません ☎中央図書館 Tel.84-0111

わたしのワンピース(上映時間29分)日本語字幕付き
絵本作家にしまきかよこさんの絵本の世界が動き出します。

NHKこどもにんぎょう劇場 日本編(上映時間約30分)
かさじぞう・金の斧を上映します。

☎3月7日(土)10:30~(10:00開場) ☎未就学児以上

小さなバイキング ビッケ(上映時間88分)日本語字幕付き
ルーネル・ヨンソン原作の児童書を実写化。

☎3月7日(土)14:00~(13:30開場) ☎小学生以上



小説『安曇野』を読もう!

第11回 第4部その一から九良の一挙手一投足に注がれる言葉

第4部の時代背景は昭和、日本の敗戦までとなります。相馬夫妻は9人の子供と12人の孫に恵まれますが、戦火に命を奪われた者も多くいます。昭和18年に松本五十連隊の陸軍少尉として応召された白井は、部下を戦地へと送り出します。「なぜ日本は若者を無駄死にさせたのか」と白井が言い放つ問いは、この『安曇野』執筆の動機ともなっています。

この巻の前段は、相馬夫妻の子どもたちの物語です。その二は、愛蔵と良の言動が和子(長男安雄の妻)を通して記されます。「愛蔵ほど哀れな夫、無力な親はなかった」と語ります。その八は良と五男・虎雄との確執です。「虎雄の怒鳴る声がつづいた。物を投げつける音がして、良が階段をおりてくるのを追っかけて、座ぶとんがとんできた。つづいて鏡餅がころがってきた」など、4頁に渡ります。その五、六は場面が大きく展



「雪野」(モノクロ)
八十二文化財団『早逝の大器
山口蒼輪展』より

川井訓導事件の当事者である川井清一郎は、絵画を嗜んでいました。堀金の山口家に生まれた山口蒼輪(本名・蒼)は、川井の教え子です。蒼輪の絵画への萌芽は、川井との出会いのころから始まります。

開きます。清澤潤と斎藤茂の対話です。この二人は井口喜源治設立の研成義塾の卒業生です。昭和7年10月脳出血にて倒れ床に伏している井口の枕元で、甘粕事件や教員の赤化事件、川井訓導事件、ジャーナリズムの罪悪を語り合います。特に赤化事件では、南安曇郡下の学校でも多くの教員が検挙された様子が詳細に記されています。